

# 歌曲集 「うみ山のあいだ」

作品 73

詩：江森國友

作曲：近藤浩平

## From the Sea to the Mountain

Op.73

Verse by  
Kunitomo EMORI

Composed by  
Kohei KONDO

近藤浩平

Kohei KONDO

R5656m@aol.com

<http://koheikondo.web.infoseek.co.jp/>

うみ山のあいだ

詩… 江森國友

乙姫

海の幸は山にも溢れて  
山嶺の空にまで運ばれている

水は われわれの風土に遍満して還流し  
竜宮の 乙姫は  
山深い滝津瀬に  
ハタ(機)を織っていた

うみ

海から  
裸の子供たちが つぎつぎ  
砂浜に上がってくる つぎつぎ  
裸の足で  
かかとを濡れた砂にくつきりと刻んで

太陽が影をつくる  
万物は運動している  
上陸した子供は  
同じ海で 二度と遊ぶことは出来ない

うらやま

ホホラ ホイ  
山入り 山上がり  
ホホラ ホイ

里山

端(葉)山

裏山

奥山

青山は清浄

(気)

境界を払う

うらやまはミドリゴのもとめる

アタタカイ 乳房

(ウアラヤシ)

まみえぬ母のふところ

(ウラヤマシ)

まぐわいのホト(毛)

乾坤

変貌する カホ(顔)

掌

瞳はそつと少女の心を拾い上げる  
心は木の実のように人知れずぽつと落ちて  
いつも空を見上げているのだ

掌にすると

一瞬 含羞に身を寄せる  
青い空の下に影を造らせないので  
少女には記憶がないのだと想う

一九四三年・夏 父の死

小鳥の墓 孤を描く焼木

母のこと 長い血縁の生理や

出生の由来を此の風土に尋ねることより  
悲しいことはない

少女はまた

終日 海の心を知ろうと渚にたたずむ

透明な貝の耳である

海の話聴きながら

いつか海の心を知れ得ずして砂に消える

全きを希つてかなわず

変貌に移ろう花の季節でもあろうか

心を寄せかけると

少女はその重みに耐えられない

唯、肉体を土深く埋めて

愛は土に帰り

何時もぽつと落ちて

天を仰いでいる少女の心を  
秘かにその掌に捕らえる

# 第1曲 乙姫

詩：江森國友

曲：近藤浩平

♩ = 66

Soprano

Oboe

うみの

S

さちは やまに もあふれて さんれいの そら

Ob.

S

にまで はこばれて いる みずは われわれの ふう

Ob.

12 *f*

S

ど に へんま ん し て か んりゅう し りゅうぐ

Ob.

*mf* *mp*

15 *mp* *mf*

S

う の おとひめ は やまふかい たきつせに

Ob.

*mf*

19

S

は た を おっ て い た

Ob.

# 第2曲 うみ

詩：江森國友

曲：近藤浩平

*♩* = 154

*mf*

Soprano

Oboe

*p* *mp*

5 *f* *mp* *mf*

S

Oboe

5 *f* *mp* *mf*

10 *mp* *mf*

S

Oboe

10 *p* *mp* *mf*

14 *p* *mf*

S

Oboe

14 *mp* *p* *mf*

うみから はだかの  
こども たちが つぎつぎ すなは まに  
つぎつぎ あがっ てく る はだかの  
あしで かかとを ぬれたすなに

17 *f* *mf*

S  
くつきり きざんで たいようが かげをつく

Ob.

22 *f*

S  
る ばんぶつは うんどうしている じょうり

Ob.

28 *mp* *f*

S  
くした こどもは おなじうみで おなじうみで

Ob.

*mp* *f*

35 *mf*

S  
にどと あそぶことは できない

Ob.

*mf*

# 第3曲 うらやま

詩：江森國友

曲：近藤浩平

*♩ = 120* *mf*

Soprano

Oboe

*p*

ホ ホ ラ ホ イ や ま い り .

5

S

Ob.

*mp*

や ま あ が り - ホ ホ ラ ホ イ ホ ホ ラ ホ イ

9

S

Ob.

*mf*

3 3 3

13

S

Ob.

*f* *mf* *p*

さ と や ま . は や ま . う ら や ま . お く や ま . せ い ざ ん

17 *f*

S は. せいじょう. き きょうかいを. はらア

Ob. *mf*

21

S う.

Ob. *f*

26 *mf*

S うらやまは. みどりごの, もとめる, あた たかい. ちぶ

Ob. *p* *mf*

30

S さ ウラヤマシ. まみえぬ, はは -- の. ふとこ --

Ob.

34

S *f* *mf*

る ウラ ヤ マ シ. ま ぐ わ い の ほ と. け ん こ ん.

Ob. *f* *mf*

39

S *f* *mf*

へ ん ぼ う す る カ ホ へ ん ぼ う す る カ ホ ホ ホ

Ob. *mf*

44

S

ラ ホ イ, ホ ホ ラ ホ イ - . ホ イ -

Ob.

# 第4曲 掌

詩：江森國友

曲：近藤浩平

*♩ = 110*

Soprano

Oboe

*p mp p mf p*

*♩ = 125*

S

5 *p mf p mp mf , rit. ,*

ひ と み は そ つ と し ょ う じ ょ の こ こ ろ を

Ob.

5 *p mp mf f*

*♩ = 110 f*

S

9 ひ ろ い あ げ る

*♩ = 125*

Ob.

9 *mf*

13 *mp* *p*

S

こころは。 このみの。 よう

Ob.

*mp* *p*

17 *f*

S

に。 ひとしれず。 ぽっとおちて。 ー。 なんと きも。

Ob.

*mf* *f*

21

S

そらを。 ー。 みあげて いるのだ。 ー。

Ob.

*p*

25 *p*

S

てにすると。 いっしゅん が んしゅうに。 みを

Ob.

*p*



43

S

か。こをえがく。しょうぼく。ははのこと。

Ob.

*f*

47

S

ながいけつえんの。せいりやー。しゅっしょ

Ob.

*mf* *f* *mp* *p*

*mp* *mf* *p*

51

S

うの。ゆらいを。このふうどーにー。たずね

Ob.

*mf* *f*

*mp* *mf*

55

S

ることよ。り。かなしいことはない。

Ob.

*f* *mf*

59

S

Ob.

*p*

63

S

Ob.

しょうじよは。 また。

*f*

*f* *mf*

67

S

Ob.

しゅうじつ。 うみの。 ころを。 しろうと。

*ff*

*f* *f*

71

S

Ob.

なぎさに。 たたずむ。 とうめいな。 かいのみみで。

*f* *mf* *mp* *rit.*

*mf* *mp*

75  $\bullet = 110$  ,  $\bullet = 125$  *mf*

S  
あ - - る。 うみのはなしを。 ききながら -。 いつか。

Ob.  
*p*

79 *f*  $\bullet = 65$  *mf*

S  
うみの。 ころを。 しりえずして。 すな

Ob.  
*mf* *p*

83  $\bullet = 75$  *p*

S  
にきえる。 まったきを。 ねがっ

Ob.  
*mp* *f* *mp* *p*

89  $\bullet = 85$

S  
て。 かなわ ず。 へ ん ぼ う に。 う つ ろ う。 は な

Ob.  
*p* *pp*

94 ♩ = 135

S 

Ob. 

100 *mf*

S 

Ob. 

104

S 

Ob. 

109 *mp* *mf*

S 

Ob. 

113  
S

どきも. ぽ っ と. お ち て. て ん を. あ お い で い る. し ょ う

Ob.

118  
S

じ ょ の. こ こ ろ を. ひ そ か に. そ の て に. と ら

Ob.

123  
S

え る

Ob.